

天童市民病院のご案内



天童市民病院



天童市民病院

地域医療の砦として 命の喜びと尊さを 共感できる病院

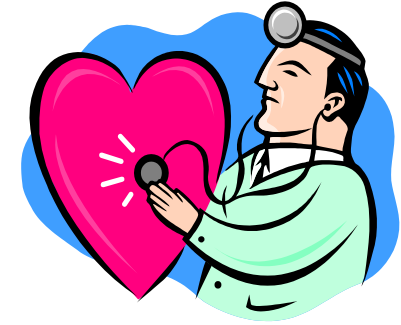
天童市民病院の沿革

- 1 地域住民の健康の保持と増進に寄与するため、昭和24年に「蔵増村国民保険直営診療所」が開設されました。
- 2 昭和30年に「天童町国民健康保険直営天童病院」として、内科、外科、産婦人科の3科、31床の病院となりました。
- 3 昭和42年4月に「天童市立天童病院」に改称し、昭和56年2月に3科、70床の病院として現在の敷地に新築移転しました。同年12月に小児科を、平成10年10月に脳神経外科を増設し、5科、70床の病院となりました。
- 4 平成20年4月1日に「天童市民病院」に改称し、5科、一般病床54床、療養病床30床で改築開院しました。同年9月に皮膚科を、平成21年に整形外科を開設し、7科、84床の病院となりました。

天童市民病院の基本理念・基本方針

基本理念

「地域医療の砦として命の喜びと尊さを共感できる病院」



基本方針

- 1 生の喜び、命の尊さ、人としての尊厳を患者と病院が共感し、共に疾病に立ち向かいます。
- 2 医療人としての自覚と誇りを持って、思いやりの医療を実践し、信頼される病院を目指します。
- 3 健診による疾病予防や早期発見、高齢者への生活支援、リハビリテーション、在宅医療を充実することにより、地域福祉の増進に貢献します。
- 4 地域の中核病院として、医療と介護の連携を推進し、地域医療の充実に努めます。

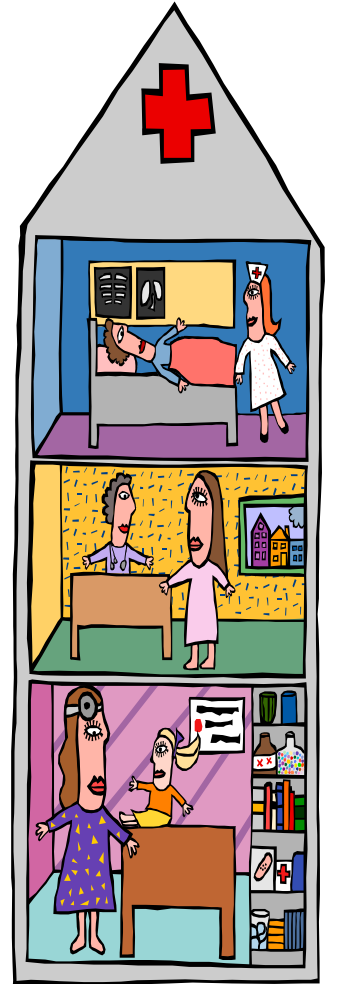
天童市民病院の施設概要

- 1 開設 平成20年4月
- 2 構造 鉄筋コンクリート造り3階建て
- 3 敷地面積 14,471.59㎡
- 4 建物面積 7,682.70㎡
- 5 駐車台数 普通車218台 身体障がい者用2台
- 6 病室
 - ① 地域包括ケア病棟 54床（個室：24室 2床室：5室 4床室：5室）
 - ② 療養病棟 30床（個室：6室 2床室：4室 4床室：4室）
- 7 主な施設 手術室：2室 内視鏡室：1室 超音波室：2室



天童市民病院の施設の配置

屋上	展望デッキ
3階	療養病棟、リハビリテーションルーム、デイルーム、家族控室
2階	地域包括ケア病棟、手術室、デイルーム、家族控室
1階	総合受付、外来受付、待合ホール、人間ドック待合室、 外来診察室、検査室、内視鏡室、超音波室、MRI室、CT室、 薬剤室、事務室、外来レストラン、売店



天童市民病院の施設の特徴

1 病院の配置と内外装

- (1) 南側及び東側に開放された平面計画とし、舞鶴山や蔵王連峰が眺望できるように配置しました。
- (2) 外壁はタイル張りとして重厚感を出すとともに、外壁をライトベージュ系の色とすることで清潔感と暖かみのある色彩としました。
- (3) 東面の外壁には木のルーバーを設けて、自然と調和した親しみやすさと暖かさを表現しました。



2 災害に強い病院

(1) 免震構造の採用

- ① 大規模な地震などの災害時においても、医療活動の拠点としての機能が維持できるよう、基礎免震構造を採用しました。
- ② 免振構造は、関東大震災クラスの震度6強の地震でも通常の病院機能を維持できる耐震性能で、地震のエネルギーを3分の1から5分の1に軽減することができます。



(2) ライフライン

- ① 非常発電: 停電に対応するための非常用発電機を備えており、燃料が満タン時において、約50日の稼動が可能です。
- ② 水道水: 水道の断水に備え、院内で使用する水道水34トン地下の受水槽に貯めています。
- ③ 雨水利用: 雨水をろ過・滅菌し、トイレ用の水として利用しています。受水槽の容量は21トンで、約2日分の水量を確保しています。
- ④ 空調: 空調熱源の複数化・多重化を図り、昼間系統と24時間系統に分けています。また、全熱交換機やインバーター制御により効率性を高め、ランニングコストの低減を図っています。

(3) 地域包括ケア病床・療養病床とリハビリテーション

- ① 医学的な管理の下で、患者の在宅復帰を支援する地域包括ケア病床54床と、慢性期の療養に対応する療養病床30床を設置しています。
- ② 回復期・慢性期における総合的なリハビリテーションを実施するため、理学療法士と作業療法士を配置しています。



(4) 高度医療機器の導入と業務の効率化

病院機能の充実を図るため、MRI、CT、デジタルマンモグラフィー、上下内視鏡、気管支内視鏡、超音波診断装置、骨密度測定装置などの高度医療機器を導入し、画像診断等の充実を図っています。また、業務の効率化と患者様の待ち時間を短縮するため、自動受付機や自動精算機を導入しています。



(5) 快適な環境の提供

- ① 入院生活を快適に過ごせるよう、1床あたりの室内面積を8㎡以上としています。また、各階の廊下の腰壁や床には木質系の材料を使うなど、暖かみのある内装としています。
- ② 病室は、医療ガス等の設備を埋め込み、病室らしさを極力控えたつくりとし、廊下などの病室周りにも余裕を持たせることで、快適な空間を提供しています。
また、各病室には作り付けの家具や、洗面所・トイレを配置し、全ての病床の窓から外が眺められるように設計しています。



(6) ゆとりのある個室

- ① 84床の病床のうち、30床の個室を設置し、ゆったりとした環境の中で療養できるように、個室の全室にユニットバスを設置しています。
- ② 人間ドック・健診用の病室にもユニットバスを設け、受診環境の充実を図っています。



天童市民病院の診療概要



院長 高畠 典明



病床 84床 内訳 地域包括ケア病床 54床 (2階病棟)
療養病床 30床 (3階病棟)



診療科目 内科 外科 小児科 産婦人科 脳神経外科
皮膚科 整形外科 7科



主な施設基準 地域包括ケア病棟入院料 1 療養病棟入院料 1
在宅療養支援病院 二次救急告示病院

天童市民病院の診療科・医師

内科

外科

小児科

産婦人科

皮膚科

脳神経外科

整形外科

放射線科
(画像診断)

診療科	氏名	役職	専門	勤務形態
内科	高畠 典明	院長	呼吸器	常勤
	遠藤 太紀雄	副院長	循環器	常勤
	山本 一仁	医長	消化器	常勤
	伊藤 正裕	副医長	一般	常勤
	新谷 哲一		一般	常勤
	中嶋 凱夫		内分泌	非常勤
	武田 博明		呼吸器	非常勤
	須貝 孝幸	山大派遣	循環器	非常勤
外科	木村 青史	医療顧問	乳腺外科	非常勤
	武田 雄一郎	医長	消化器外科	常勤
	石田 一		消化器外科	非常勤
	山形大学派遣医師 1人			非常勤
小児科	池上 徹	医長		常勤
	森谷 直樹			非常勤
山形大学派遣医師 1人			非常勤	
産婦人科	金子 尚仁			非常勤
山形大学派遣医師 1人				非常勤
皮膚科	山形大学派遣医師 2人			非常勤
脳神経外科	山形大学派遣医師 1人			非常勤
整形外科	大沼 寧	山形徳洲会病院派遣		非常勤
	富樫 栄太	山形徳洲会病院派遣		非常勤
放射線科	紺野 義浩	山形大学派遣		非常勤

天童市民病院の医療機能

地域密着型病院として、次の機能を担っています。



1 急性期病院の
後方支援機能

2 亜急性期医療
機能

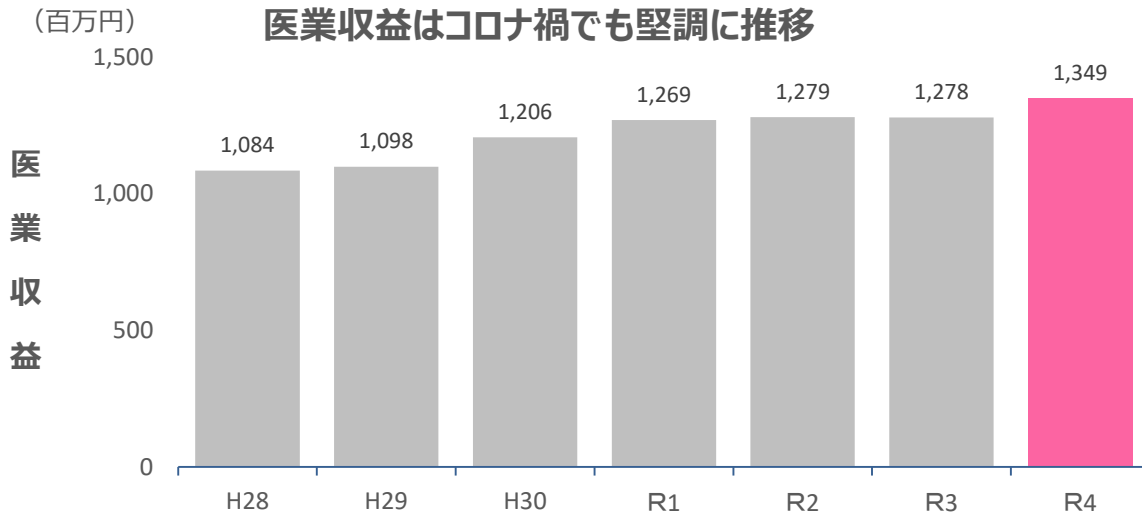
3 クリニックとの地域医療連携機能

4 退院支援と在宅医療機能

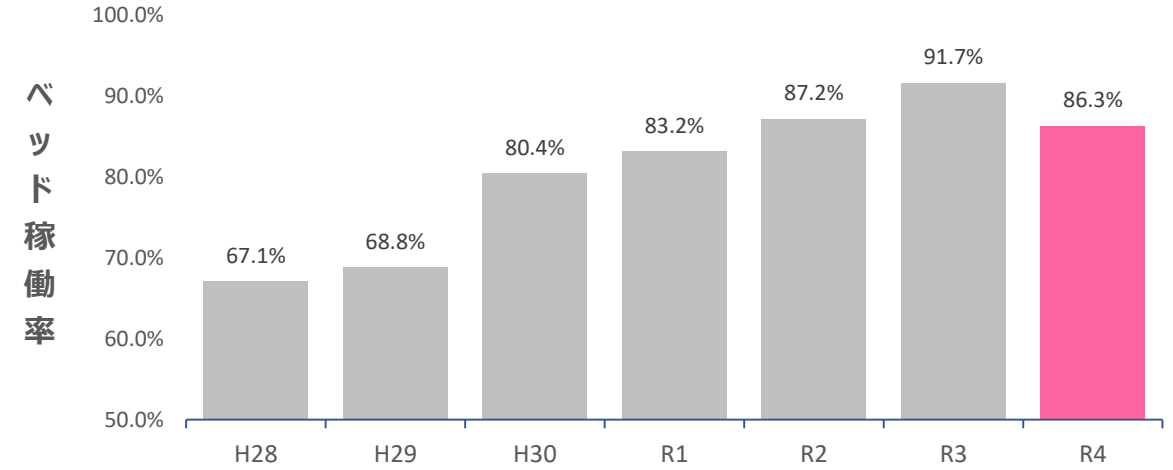


医業収益と患者数の推移

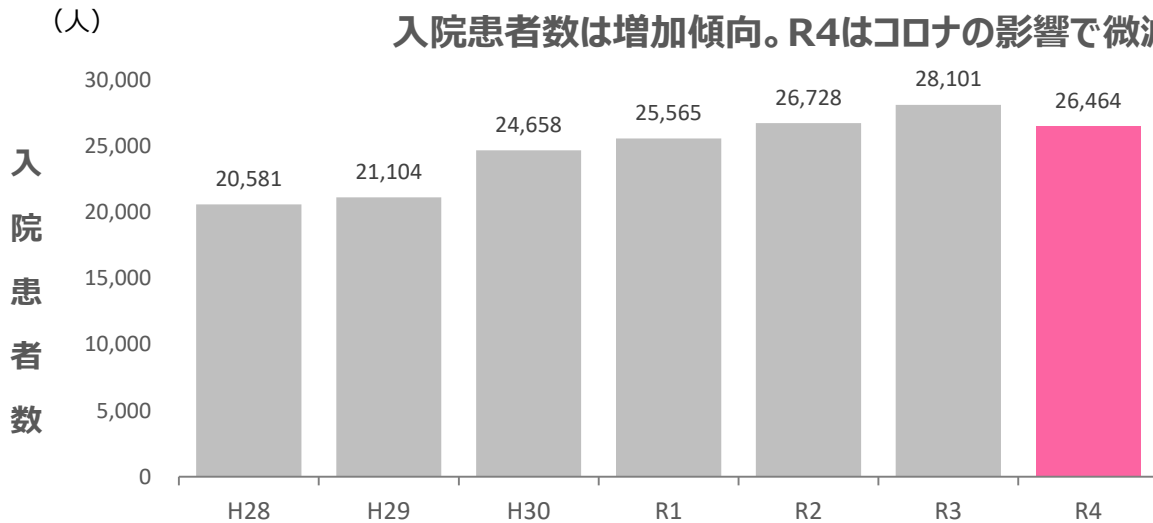
医業収益はコロナ禍でも堅調に推移



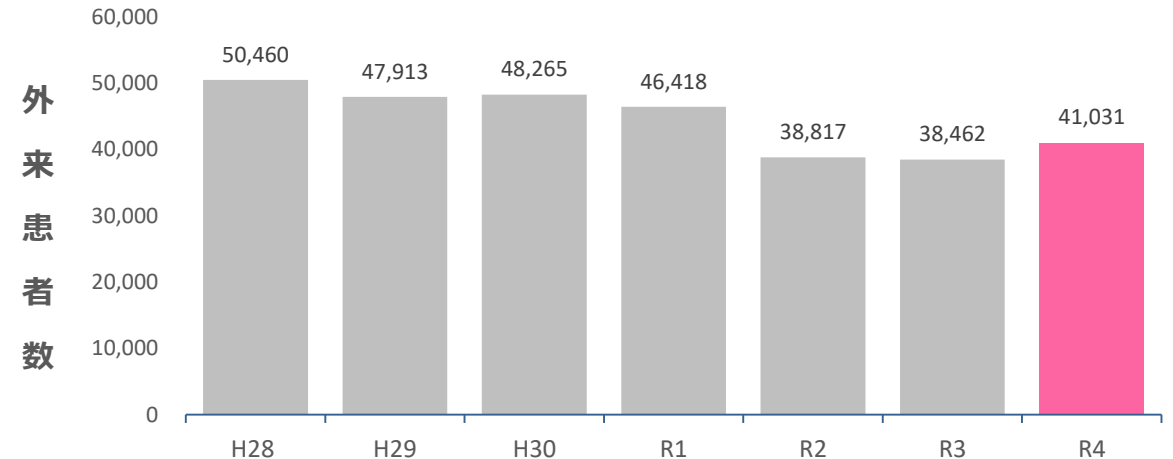
ベッド稼働率は直近3期85%以上で推移



入院患者数は増加傾向。R4はコロナの影響で微減

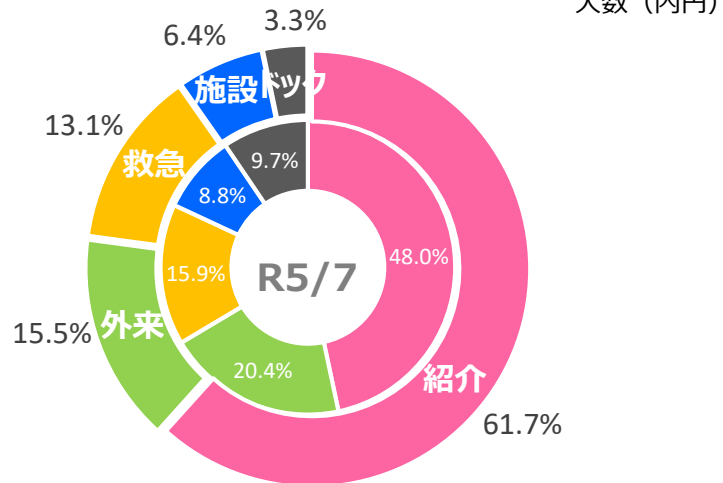


外来患者数は減少が続く。R4は発熱外来の影響で増加



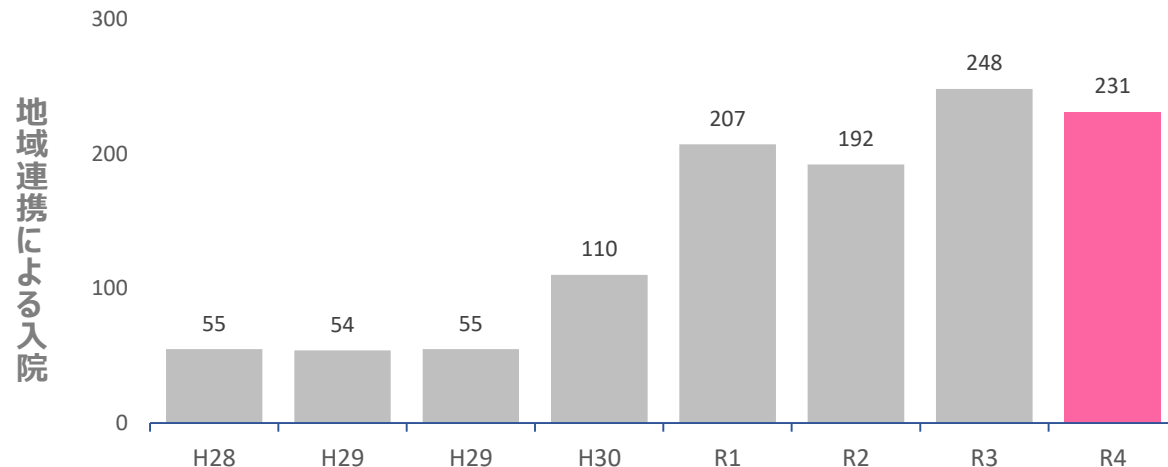
入院経路と救急搬送受入れの推移

入院経路は紹介入院がトップ



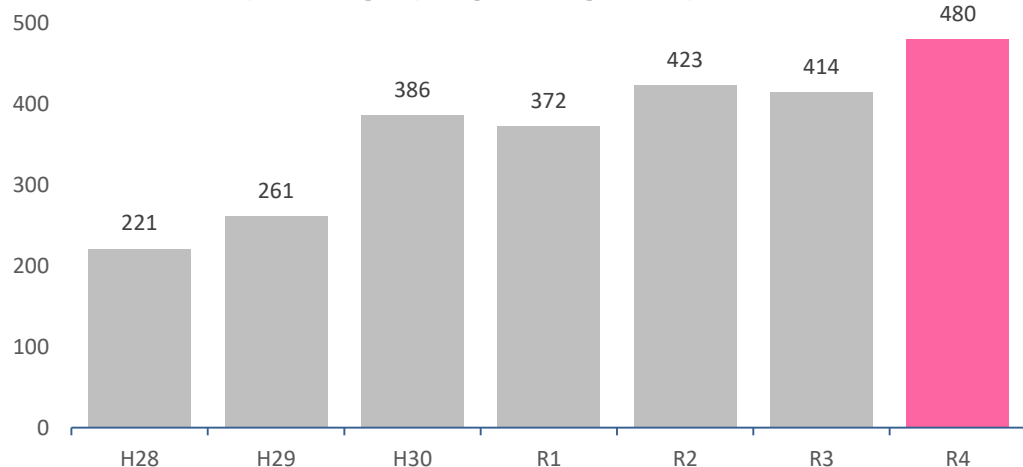
(人)

地域連携による入院が以前の5倍に



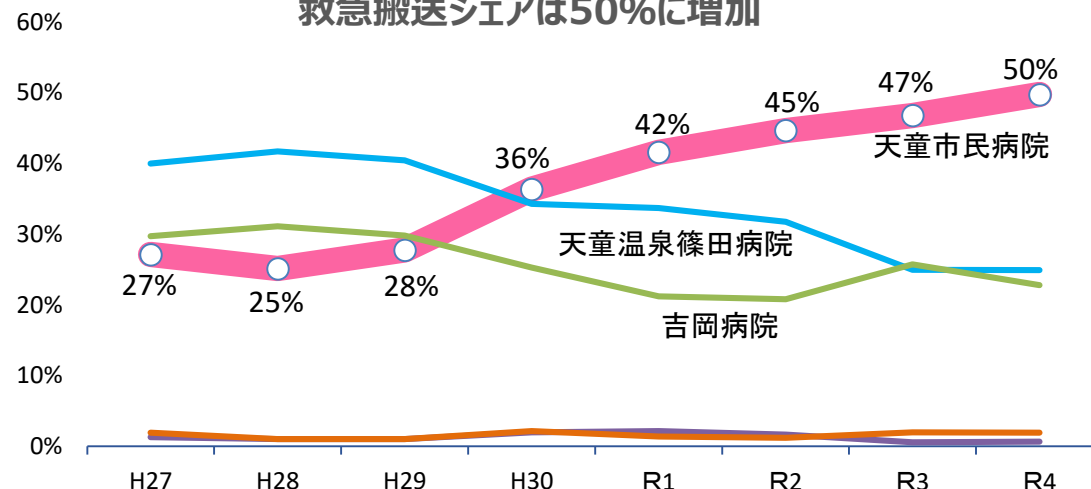
救急搬送受入件数は約500件に増加

救急搬送受入



救急搬送シェアは50%に増加

救急搬送シェア



医師の勤務に関する「よくある質問」

- 1 > 具体的な医師の業務を教えてください。
 - ☞ 病棟管理・外来・検診・訪問診療となります。
 - ☞ チーム医療により対応を行っていますので、検診や救急対応は曜日を決めて、各医師が業務を分担しています。
- 2 > 病棟の担当患者数はどれくらいですか？
 - ☞ 病棟の担当患者は、約10人～15人程度です。
 - ☞ 担当患者数は、業務を調整し、平準化を行っています。
- 3 > 病棟の患者様はどのような症例が多いですか？
 - ☞ 急性期後の回復期の患者様や軽症状の患者様が中心です。
 - ☞ 80歳以上の患者様が約80～90%を占めています。
 - ☞ 市民病院ではACPを推進しており、大半がDNARを得ています。
- 4 > 病棟の夜間の呼び出しはありますか？
 - ☞ 原則として、夜間の呼び出しはありません。
 - ☞ 当直医が緊急時や死亡時の引継ぎ書により対応します。
- 5 > 外来患者数は1日どれくらいですか？
 - ☞ 曜日により変動はありますが、病院全体で平均約200人程度です。
- 6 > 時間外勤務はどれくらいですか？
 - ☞ 医師の時間外勤務は、ほぼありません。
- 7 > 当直は月どれくらいですか？
 - ☞ 常勤医師は、月3回程度の当直を行っています。
 - ☞ 週末の当直は、外部からの派遣の医師に委託しています。
 - ☞ 勤務に支障がなければ、当直明けの午後は職務を免除しています。
- 8 > 夜間当直時の来院患者数はどれくらいですか？
 - ☞ ウォーイン、救急搬送ともに夜間に1件～2件程度です。

病院周辺の環境

- 1 天童市の人口は、約6.1万人です。
- 2 山形市に隣接し、仙台市にも近く、交通の要衝で、公共交通のアクセスに恵まれています。
 - ・JR天童駅は新幹線停車駅で、天童駅まで徒歩10分
 - ・車で山形空港へ13分、東北中央自動車道ICへ5分
- 3 東北最大級のイオンモール天童（通称イモ天）が立地し、買い物が便利です。
- 4 隣接の山形市には国立大学や医学部進学高があり、教育環境が整っています。
- 5 「いで湯のまち」として県内有数の温泉地である天童温泉は、美肌効果も抜群
- 6 県下では雪が少ない地域となっています。
- 7 ラフランス生産量は日本一。さくらんぼ、もも、ぶどう、りんごなどのフルーツ天国
- 8 全国の生産量の90%以上を占める将棋の駒の産地として有名です。

住みよさランキング2017

■「住みよさランキング」地域別
(北海道・東北)トップ20

順位	市区町村名 (都道府県名)	総合 評価	偏差値
1	名取(宮城)	11	56.16
2	天童(山形)	26	55.05
3	新庄(山形)	27	55.04
4	大仙(秋田)	37	54.41
5	東根(山形)	40	54.33



天童市民病院へのアクセス

